

／ 先行予約！**秋**からお届け分は ここでお申込みを！ ／

2025年産・お米（めぐみちゃんコシヒカリ）

定期購入契約者(変更・新規)を募集いたします

※既に定期購入されている方で、変更なく継続する場合は応募不要です

※「黒澤さんのお米」は、現在、定期購入受付中です

■「令和の米騒動」の原因

昨年から続く「令和の米騒動」は収まる気配がありません。

このような状況になった理由のきっかけは、昨今の小麦価格の高騰で割安感のある米に消費がシフトしていた状況の中、南海トラフ地震臨時情報発令による消費者・米問屋による米の集中確保が原因の様です。

しかし、そもそも米を作る人が減っていること（2005年からの15年間で約半分に減少）、政府のコメ政策の失敗（単年度需給均衡政策＝米を毎年余らせない政策で、ちょっとした需給変動に耐えられない）もベースとしての原因の様です。

■常総生協のお米の状況・生産者の状況

昨年9月の新米登場前後、市場価格がじわじわ上がってくるにつれて、生協の注文も増えてきました。

10月中旬には例年の3倍になる週もあり、11月1週目には契約者（予約者）優先とさせていただき、「めぐみちゃん」の随時購入は休止いたしました。それでも契約者分は今年の9月初旬には無くなりそうな状況です。

生産者の皆様には、お米の本体価格は据え置きでこの間供給頂いております。本当に感謝です。

■常総生協の考え

米騒動前の常総生協のお米の利用率は7%程度でしたが現在は9%になりました。延べ人数では昨年(10028人)と比べ2943人利用が増え、12971人になりました。

市場価格が上昇する中で相対的に安い生協のお米に利用が結集している状況です。

先週、山形のお米生産者からは「常総さんの分は例年の量は抑えましたが、このペースですと6月にはなくなるかも」とのこと。

主食のお米が無くなつては、健康的な暮らしは立ちゆきません。未来に続く主食をしっかりと確保するためには、生産者と消費者の関係をしっかり築くこと＝**買い支えること**が、今とても大事な事だと思います。

この機会にぜひ、生産者との消費契約をお願いいたします。



2025年4月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総つ子応援団」in流星台プレイパーク：毎週木曜日 10～14時 活動中です！（出入り自由）	4/13(日)生活相談会@つくば 4/25(金)東海第二差止訴訟 第6回口頭弁論(@東京高等裁判所)
4/5(土) 地区懇談会am@牛久・pm@取手 4/12(土) 地区懇談会@つくば	4/26(土)ダニーさん講演会@取手
4/16(水) 地区懇談会@生協本部 4/19(土) 地区懇談会am@松戸・pm@柏	

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円
- ★【注文番号:500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円（一次締切：～2025年4月5回まで）

■2025年産「めぐみちゃん」の契約者を募集します。但し、価格は暫定です

常総生協はこれまで秋の収穫時に契約者を募集してきました。というのは「常総生協くらいの量だったらあるから、秋に数量決めればいいですよ」との計らいからでした。

しかし、昨今の状況では、春の田植え前に大方の消費量を決めておかないと、秋時点での確保が困難になる恐れがあります。この春に契約者を募集し、概ねの数量を把握することで、生産者も安心して作付けできます。

他方で、この20年間「めぐみちゃん」生産者は、本体価格を値上げせず、高品質で安心のお米を届けてくれました。

しかし、昨今の燃料や袋、農業資材をはじめとする生産費が上昇し続けています。

安心の主食を手に入れるためには再生産可能な価格で購入することが必要です。今回の春募集時点では、値上げ価格（暫定）にて提案させていただきます。

【お願い】インフレの時代、物流費や資材の急激な高騰が日常茶飯事です。収穫の秋頃に状況が変化している事も考えられます。再生産可能な価格で生産頂くためにも、収穫前の秋に再度、価格を見直します。

もちろん値上げありきではなく、今後もし生産費が下がればそれに合わせて生産者と協議して見直します。

今回は暫定価格ですが、以下の価格での提示を致します。

「めぐみちゃん」（コシヒカリ）

現行契約価格2462円（税込）ですが値上げ予定です。

予定契約価格：3000～3500円前後（白米・税込）

↑通常価格より税込70円値引き予定

【ご注意】

●「【契約】めぐみちゃん」は、新米収穫後のお届けです。

●お申し込み後に田植えをしますので、特別な事情が無い限りキャンセルは承りかねます。

●なお、2025年産「めぐみちゃん」の随時購入企画（カタログ掲載）については未定です。



水海道特別栽培米「めぐみちゃん」

地元、常総市水海道・「東町特裁米組合」からお届けします。1993年のコメ不足の際、常総生協組合員の為に全量出荷してくれたのが「東町特裁米組合」です。当時、東町地区全域に農薬の空中散布がされていたのですが、生産者・生協が一丸となって空中散布を廃止。以降も少しずつ農薬の回数を減らす努力をされ、今では初期除草剤1回の高品質な特別栽培米を生産しています。



私たちの毎日の活力源の主食であるお米。「安いから」「高いから」という理由で右往左往するのではなく、今こそ生産者と消費者の関係を強めることで、安心の食・主食を食べ続けられる関係をしっかり作る必要があると思います。

「縁故米」(親族や知合いからの)の方も、地元の「田んぼのある風景」を守るためにも、年間のうち何袋かは常総のお米を契約利用頂けると嬉しいです。

2025年秋からの先行予約（「めぐみちゃん」の定期購入）申込み

次ページ または [QRコード](#)で → → → → →

※既に予約登録中で変更がある場合は改めてお申込みください



＊ ＊ **2025年秋 からの「めぐみちゃん」先行予約（お米の定期購入、変更・新規）申込書** ＊ ＊

- ・既に予約登録中の方は、変更がある場合のみご提出ください。 **申込締切：4/25(金)まで**
- ・お申し込み後に田植えをしますので、特別な事情が無い限りキャンセルは承りかねます。
- ・余裕がある場合は、秋にも追加募集をします。

コース名 _____ 組合員番号 _____ 組合員名 _____

対象の□欄に✓をしてお申込みください。

※開始週は収穫状況によって変わる可能性があります

お米の種類	精米度合い・規格	頻度	開始週	変更/新規
水海道のお米 めぐみちゃんのこしひかり	☐ 白米5g ☐ 白米 2 kg ☐ 玄米5kg	☐ 毎週 ☐ 隔週 ☐ 4週に1回 ☐ 8週に1回	☐ 9月3回 ☐ 9月4回 ☐ 10月1回 ☐ 10月2回	☐ 変更 ☐ 新規
生協への連絡事項				

-----きりとり線(ここから上を提出ください)-----

契約米（予約米）の重要性について

化粧品を届けてくださるアーダ・ブレーンの社長佐藤圭さん（常総生協・生産者の会役員）は、体をつくる食と農にも大変強い関心をお持ちで、この度契約米や日本の農業政策についてご意見を寄稿してくださいました。

結論「契約米は必須です」！

●契約米（予約米）とは？

お米を年間契約することで、農家さんは計画的に生産することができ、組合員さんは安定的に食べることが可能となります。



●契約米で「守る」に貢献

1. 自分や家族を守る

自分や家族が食べるお米の確保。

2. 農家さんを守る。

お米を作ってくださる農家さんを守ることが大切です。現在、農家さんの倒産や廃業が増えまくりです。

3. 地域や文化、環境を守る。

各地域の風習や慣わし、脈々と受け継がれる文化を守る。田圃に生息する虫や、そこに飛来する鳥たちを守る。防災面という観点から余白地としても大切な場所となります。

●「食料供給困難事態対策法」

さて、今年4月から施行される「食料供給困難事態対策法」をご存知ですか？食料供給困難事態対策法とは、異常気象や紛争などの影響で食料が不足する事態に備える法律※です。

「食料供給困難事態対策法」の対局にあったのが、昭和45年度から平成30年度まで実施された「減反政策」です。米の生産量を抑制して米価を維持することを目的として行われた減反政策でしたが、戦後の学校給食に輸入小麦から作られるパン食が導入され、徐々に日本人の食生活が

変化したことで、お米を食べる機会が減り、減反政策は終わりを迎えました。

食料の供給が困難になる災害や異常気象に備えることは大切だと思います。しかし、農家さんに罰則規定があることや、法律が成立した経緯を鑑みると、“何かを起こそう”とする動きが見え隠れしているような気がするのは私だけでしょうか。

陰謀論で片付けられていたことが、ネットの普及で現実になっていることもあることに、多くの方が気づき始めているように感じます。

●「無関心」でも、「無関係」ではられない。

種子法、種苗法、原発、ウイルス、クスリ、ワクチン、農薬、フッ素化合物、水源地、水道、移民、老朽化などなど、問題山積ですが、大手メディアの情報だけを鵜呑みにするのではなく、あらゆる情報を自ら取りに行くことが大切です。

政治が悪い、社会が悪いと文句を言っても何も改善しません。世の中を明るく変えるのは、私たち一人ひとりの行動が重要で、常に良いイメージ、良い言霊を大切に、次世代に繋いでいくことが我々の使命です。

最後に、お米という漢字は「光」という字に似ていると思いませんか？お米を食べるといことは、カラダ(體)に光を取り入れているという解釈ができます。光を取り入れて、キラキラと輝く毎日を過ごしましょう。

以上、不思議な化粧品屋さんよりの提言です。

※食料供給困難事態対策法・・・対象は米、小麦、大豆その他の農林水産物等。政府の生産指示に従わないときは罰

金(20万円以下)や公表は厳しすぎる、従事者の自由が守られていないといった反対意見があります。

常総醤油など3商品 商品ラベルの「イラスト」を募集します！

今週配布の「50周年特別号」に掲載しています、常総醤油など3商品の「イラスト」を募集します。同時配布の応募用紙で提出してください。

あなたの絵がラベルになるかもしれません！この機会にぜひご応募ください。

対象商品

- ①常総「火入れ」醤油 500ml
- ②常総「生」醤油 360ml
- ③常総「福来ぼんず」 360ml

現行は①→



↓②



↓③



同時折込の→
応募用紙で！

＼お待ちしています！／

応募期限 4月18日(金)まで

ひろがれ！手前みそ作り！開催報告続き ～出張みそ作り講座編①～

出張みそ作り講座は、組合員だけでなく地域の幼稚園や団体等からの要望を受けて行います。今年は昨年から引き継いだ6つの講座について、理事が講師やお手伝いをして行いました。2回に分けて開催報告します。

【牛久幼稚園】

2/6(木)、7(金) 年中さん味噌作り さそ賑やかな場

だろうと想像し参加した年中組、親御さんの参加が少ないように思えたせいもあるが、お行儀の良い園児達にとまどう。大豆についての動画を見終えて、さあ...味噌作りと手袋をはめて塩切りや蒸し大豆つぶし。やっと出番がきたと小さな手で砂遊びの如くこねて、味噌玉を投げ入れました。味噌の元ができて一年後にはお味噌に変身すると分かってくれたかなあ～。

翌7日には食育協会員で組合員の高橋さんに分かりやすく素敵なアナウンスヘルプを頂き園児にも充分大豆たんぱく味噌の優秀さを伝えられた事、感謝しております。

右往左往ばかりで修行不足の私でした。きっと一度でも味噌作りを体験した子供達は人生の折々でお味噌汁を頂く度に仕込みの様子と栄養について誰かに伝えてくれるだろうと思っています。(理事 工藤)



できた味噌で以前は豚汁を作っていましたが、今年はお家で食べられるように味噌玉作りです。だしの昆布茶や鰹節、具のお麴や乾燥わかめを味噌に混ぜて包み完成です。保護者の皆さんも参加されていたので、これを機にご家庭でも味噌づくりに挑戦していただけたらいいなと思いました。(理事 藤原)



【組合員Kさん仲間】2/18(火) 生協本部

これが3回目という組合員つくば市Kさんのグループ6人の味噌造りのお手伝いをしました。今回は前理事長の増本さんと前理事の高橋さんが教えてくださるので、どういうやり方をするのか、勉強しようと思っていました。でも、2セット分作る人の、目の前の麴と塩、温めた大豆を前にすると、先輩から勉強しようという殊勝な心掛けも何処へやら、麴と塩を混ぜ、それにつぶした大豆混ぜて丸めて、と作業に追われてしまいました。

予想以上にサクサクと作業は進み、終わった後、皆でお茶を飲みました。Kさんのグループはみな若い方なので(Kさん以外非組合員)常総生協に入ってくればいいなと思いましたが、お二人加入されたので、よかったです。始まる前に高橋さんから味噌作りについて説明がありました。来年の味噌造りのお手伝い時には、高橋さんのように、きちんと説明できるようにしたいと思いました。前理事長とも少しお話ができてよかったです。(理事 森)

2/10(月)、14(金) 年長さん味噌開き&味噌玉作り

1年前、年中さんだった時に仕込んだ味噌を1年間常総生協で保管し、年長さんになってご対面です。園児たちは、本当に味噌ができていいのかとワクワクしながら味噌がめをのぞきこみ、歓声を上げていました。

